



2019年6月

ロータリー財団
管理委員会議事録
(2019-20年度最初の会合)

One Rotary Center
1560 Sherman Ave., Evanston, IL 60201 USA

ロータリー財団管理委員会

2018-19

委員長

Gary C. K. Huang
Taipei, Taiwan (Rotary Club of Taipei)

委員長エレクト

K.R. Ravindran
Colombo, Sri Lanka (Rotary Club of Colombo)

委員

Jorge Aufranc
Guatemala City, Guatemala
(Rotary Club of Guatemala Sur)

Hipólito S. Ferreira
Belo Horizonte, Brazil
(Rotary Club of Contagem-Cidade Industrial)

Per Høyen
Gelsted, Denmark
(Rotary Club of Aarup)

Seiji Kita
Saitama, Japan (Rotary Club of Urawa East)

Ian H. S. Riseley
Black Rock, Victoria, Australia
(Rotary Club of Sandringham)

Michael M. Webb
Somerset, England
(Rotary Club of Mendip)

副委員長

Kenneth M. Schuppert Jr.
Decatur, AL, USA (Rotary Club of Decatur)

事務総長

John Hewko
Evanston, IL, USA (Rotary Club of Kyiv, Ukraine)

Brenda M. Cressey
Templeton, CA, USA
(Rotary Club of Paso Robles)

John F. Germ
Chattanooga, TN, USA
(Rotary Club of Chattanooga)

Jennifer E. Jones
Lasalle, ON, Canada
(Rotary Club of Windsor-Roseland)

Julia D. Phelps
Greenland, NH, USA (Rotary Club of Amesbury)

Gulam A. Vahanvaty
Mumbai, Mah., India (Rotary Club of Bombay)

SangKoo Yun
Jongro-Gu, republic of Korea
(Rotary Club of Sae Hanyang)

目 次

1. 管理委員会に代わって下された決定の承認	1
2. 事務総長の報告	1
3. RI 理事会からの報告	1
4. 利害の対立に関する方針の再検討	2
5. 暫定的な将来の検討事項	2
6. 投資委員会からの報告	2
7. オーストラリアにおける公的慈善機関	2
8. 慈善活動支援モデル	3
9. 補助金の許可要請	3
10. リスク諮問委員会からの報告	3
11. 奉仕パートナーシップの拡大	3
12. 「資格を持たない人」に対する報酬	4

補 遺

A. 管理委員会に代わって下された決定事項の要旨(決定第 1 号)(要約)	6
A.* 管理委員会に代わって下された決定事項の全文(決定第 1 号)(完全)	

* 本議事録の正本にのみ添付保管される。

2019年6月
ロータリー管理委員会
議事録

2019-20年度ロータリー管理委員会 第1回会合
2019年6月6日
ドイツ ハンブルクにおいて開催

出席者は 委員長Gary C.K. Huang、委員長エレクトK.R. Ravindran、委員 Jorge Aufranc, Brenda M. Cressey, Hipolito S. Ferreira, John F. Germ, Per Høyen, Jennifer Jones, Seiji Kita, Julia D. Phelps, Ian H.S. Riseley, Gulam A. Vahanvaty, Michael F. Webb, Sangkoo Yun、および事務総長 John Hewkoが出席した。Jeffry Cadoretteは連絡理事として出席した。副委員長 Kenneth M. Schuppertはハンブルクには出席しなかったため、ビデオ会議で参加した。

Andrew McDonald は Matt Hohmann. の協力の下、本会議の書記を担当した。その他の出席した職員はDavid Alexander, Jim Barnes, Lori Carlson, Faiz Hanif, Abby McNear, Carol Pandak, Steven Routburg, Eric Schmelling, and Thomas Thorfinnson. Misaであった。Misa MaisおよびEiko Teraoは通訳スタッフとして参加した。

事務総長は、会議の協議事項を記したメモを用意した。メモに記された事項は、当会議で協議された他の事項と同様に、以下の議題を構成する。

1. 管理委員会に代わって下された決定事項の承認

報告：ロータリー財団細則 5.10 には、管理委員会に代わって行動した役員は、誰であれ、次の定例会議で、管理委員会にその執行活動を報告するものと記載されている。

決定： 管理委員会は、2019年3月6日から2019年5月3日までの間、管理委員会に代わって行動することを認められた役員によって**補遺 A** に示された決定事項を承認する。ただし、**補遺 A** は本会合の公式議事録にのみ添付保管される。

2. 事務総長の報告

報告：事務総長は、2019年4月の管理委員会以降事務局の作業によって作成された最新の報告書を提示した。

決定：管理委員会は、2019年4月の管理委員会以降事務局の作業によって作成された報告書を受理する。

3. RI 理事会からの報告

報告：2019年5月の会合で、RI 理事会は、管理委員会にとって興味深いいくつかの決定を下した。

決定：管理委員会は、2019年5月30日のRI理事会会合における下記決定に留意する。

- 178. 国際協議会と国際大会委員長の資格要件を改定しました
- 183. 財務委員会報告：管理業務契約
- 184. 財務委員会報告：運営予算
- 186. 2019-20年度ロータリー財団の使途無指定プログラム予算

4. 利害の対立に関する方針の再検討

報告：

ロータリー財団章典 20.010. によれば、管理委員は、毎年最初の会合において利害の対立に関する方針を見直すものとするのが求められている。また章典では、管理委員はすべての潜在的な利益の対立を開示する年次報告を提出することが求められている。

決定：管理委員会は最新の利害の対立を検討し、ロータリー財団章典 20.010. に従って、『潜在的な利害の対立』に署名した。

5. 暫定的な将来の検討事項

報告：管理委員会の計画を支援するため、また前もって管理委員会の検討範囲を提供するために、事務総長は次回の管理委員会会合に将来の検討事項の草案を提出する。

決定：管理委員会は、2019年10月の会合において、暫定的な検討事項を受理する。

6. 投資委員会からの報告

報告：投資委員会は2019年5月6日、米国 イリノイ州 エバンストンに於いて開催され、資産配分、投資戦略、民間市場投資、ヘッジファンド独立運用収益方針、2020会計年度の恒久基金の収益、最新の投資運用成績およびその他について議論した。

決定：管理委員会は投資委員会からの報告に感謝する。

7. オーストラリアにおける公的慈善機関

報告：2018年9月管理委員会会合決定第9号において、管理委員会は事務総長に、ロータリーの人道的な基盤を地元の企業ドナーにまで拡大し、地元の提供者に税制上の優遇を提供し、さらにオーストラリアにおけるロータリー財団の寄附人数、規模および機会拡大に役立つだろうと思われるオーストラリア公共慈善協会の設立を研究するよう要請した。事務総長はその研究結果を提供した。それは、公共慈善機関の要求とロータリー財団のプログラムがマッチするためのいくつかの課題があることを示すものであった。管理委員会は報告を検討し、この問題を十分に検討するためには更に時間が必要であることを同意した。

決定：管理委員会は2019年10月の管理委員会会合までオーストラリアにおける公的慈善機関の設立についての判断を延期する。

8. 慈善活動支援モデル

報告：2018年10月開催の管理委員会決定第58号において、管理委員会は事務総長に、慈善活動支援モデルに従い、更なる調査が認められた協力財団とそれらの国々の最新情報を用意することを要請した。選ばれた国々の市場分析に基づいて、事務総長は、慈善活動支援モデルの潜在的拡大が示された国々の最新リストを提示した。事務総長は、協力財団の目標をより少ない費用でかつ事務局のより少ない管理で達成できる新たな仕組みがあることを報告した。

決定：管理委員会は、

1. 慈善活動支援モデルに関する事務総長からの最新情報を受理する。
2. ブラジル、フランス、イタリア、韓国およびフィリピンを慈善活動支援モデル拡大の可能性のある国と認める。
3. 協力財団を設立を推奨する前に、新たな慈善活動支援構造が考慮されるべきであることに同意する。

9. 補助金の許可要請

報告：ロータリー財団章典によれば、事務総長は100,000米ドルまでのすべての補助金を承認する権限が与えられている。これに関して事務総長が行ったすべての承認についての認可要請は管理委員会によって再確認されることになっている。事務総長は、前回否認した2つのグローバル補助金の申請に対して認可要請を受理した。

決定：管理委員会は、

1. San Antonio Alpanocan, (プエブラ州、メキシコ)において、低コストの23のシェルターを建設するために、Nashua ロータリークラブ (NH, 米国 District 7870)および 4140 地区 (メキシコ)が提唱したグローバル補助金 1980700 (WFからの支出 42,733 米ドル、プロジェクト合計 97,877 米ドル) を却下する事務総長の決定を指示する。
2. Pone-Ngam Sub-District (タイ サコンナコーン県)の公共公園に運動場を建設するために、Bang Rak ロータリークラブ (3350 地区 タイ) および Suwon-Paldal ロータリークラブ, (3750 地区 韓国)が提唱したグローバル補助金 1986801 (WFからの支出 32,500 米ドル、プロジェクト合計 67,500 米ドル) を却下する事務総長の決定を指示する。

10. リスク諮問委員会からの報告

報告：リスク諮問委員会は2019年4月1日に米国、イリノイ州 エバンストンで開催され、現在のロータリーのリスク、ロータリーのポートフォリオに対する既知のリスクのレベルを上昇させる可能性がある戦略計画の下での新たな活動や戦術、新たに発生するリスク、およびその他について議論した。

決定：管理委員会はリスク諮問委員会報告に感謝する。

11. 「奉仕」パートナーシップの拡大

報告：事務総長は二つの組織とのロータリーの奉仕パートナーシップが2019年6月に期限が終了することを報告した。さらに、事務総長は、地区社会奉仕委員長と地区職業奉仕

委員長送られた調査によって、これらのパートナーシップが有益で、継続して進展させるべきであることを裏付けられたことを報告した。RI 理事会もまた、2019年5月の会合でこれらのパートナーシップの延長に同意した。

決定：管理委員会は、Ashoka および国境なき調停者団 (Mediators Beyond Borders International) とロータリーとの試験的な奉仕パートナーシップの期間を2022年6月30日まで延長した。

12. 「資格を持たない人」に対する報酬

報告：ロータリー財団章典 23.020.1.に従い、執行委員会は、事務総長、ロータリー財団の上級管理職の職務に対して支払われた報酬金額について、その報酬が米国の税法で規定される『適正』になっていることを確認するために毎年見直すことになっている。アメリカの税法では、ある上級職員や管理職に対して、正当な理由無く、高いレベルの報酬が支払われる非課税の会社に制裁が課される可能性があることが規定されている。これらの人たちは『資格を持たない人』と呼ばれている。

決定：管理委員会は、執行委員会が、事務総長、事務総長代理、すべてのゼネラルマネジャー全員および最高投資責任者の職務に対して2019-20年度に支払うべき報酬額を検討し、かかる金額は米国税法の下で、適正であると決定したことを指摘する。

【参考】ロータリー財団章典

23.020.1. 委員会の職務内容

管理委員会の執行、プログラム、財務、寄付推進、資金管理の各委員会は以下の職務内容を有する。

執行委員会は

1. 管理委員会の委員長、委員長エレクト、副委員長、ならびに管理委員会の他の常設委員会の委員長によって構成されるものとする
2. 管理委員会の会期以外の時期に、管理委員会の方針が定められている、または緊急事態が存在する場合に、執行または運営に関する事柄について管理委員会の代理として決定を下すものとする
3. 新しい活動の開始および発展に関して管理委員会に提言を行うものとする
4. 新しいプログラムに関する提案を受理して審査する、または新しいプログラムを提案して、管理委員会に提言を行うものとする
5. 委員会の報告書を審査し、管理委員会の方針が定められている、または緊急事態が存在する場合に、必要に応じて報告書の内容に関して措置を講じるものとする
6. 必要であれば、管理委員会が充当した費用の支出に関して決定を行い、運営目的で 25,000 米ドル未満の資金の充当を行うものとする
7. 管理委員会の注意が必要とされる事柄を調査し、その上で管理委員会に提案を行うものとする
8. 提案されたすべての協力財団を検討し、管理委員会の基準を満たしている場合は、当該提案のすべてを承認または却下し、承認されたすべての協力財団の活動を監視するものとする
9. ロータリー財団の長期計画を定期的に見直し、改訂を提言するものとする
10. RI 理事会およびロータリー財団管理委員会の合同委員会において管理委員会の代表を務めるものとする
11. 米国の所得税法を順守するため、米国財務省の規定第 53.4958-6 項、あるいはそれに代わって当該時に施行されている規定に則った上で、事務総長、副事務総長、ゼネラルマネジャー全員、および最高投資責任者の職務に対して翌年中に国際ロータリーに支払われる金額の見直しを行い、該当する規定の内容から見てそうした支払いが「妥当」となるようにするものとする。本件はロータリー国際大会に付随して開かれる管理委員会会合において年 1 回見直されるものとする。
12. 管理委員会の代理として、財団の方針に対する例外を必要とする 100 万米ドルを超える寄付を受領するものとする。ただし、承認はすべて全会一致とし、当該承認は次回予定されている定例会合において管理委員に伝達されることを条件とする。

(2018 年 10 月管理委員会会合、決定 46 号)

閉会(Adjournment)

上記は、ドイツ ハンブルクにおいて、2019 年 6 月 6 日開催された 2019-20 年度ロータリー財団管理委員会第 1 回の会合の正式な議事録である。

Gary C. K. Huang ロータリー財団委員会委員長 (Chair The Rotary Foundation)

Andrew McDonald 書記 (Secretary of the Meeting)

証明 (ATTEST) :

John Hewko RI 事務総長 (General Secretary, RI)

補遺 A

管理委員会に代わって下された決定事項の要約 (決定第 1 号)

ロータリー財団専門家グループ (TRF)

- 専門家グループは、2つの事前訪問、28回の中間監査訪問、1回のポリオプラス監査、3つのランダム監査、3つの定期監査、2つの資金管理評価、および219の技術的検証含む57の補助金を調査した。

ポリオプラスパートナー補助金

- パキスタンの社会動員活動のために、ポリオプラスパートナー資金から 97,958 米ドル
- ドミニカ共和国の運営支援活動のために、ポリオプラスパートナー資金から 212,500 米ドル
- ナイジェリアの社会動員活動のために、ポリオプラスパートナー資金から 292,480 米ドル
- インドネシアの社会動員活動のために、ポリオプラスパートナー資金から 34,574 米ドル
- コンゴ共和国の社会動員活動のために、ポリオプラスパートナー資金から 208,925 米ドル

財団プログラム

- 223 件のグローバル補助金に国際財団活動資金 (WF) から合計 6,243,025 米ドル授与された。
- 25 の地区補助金に、地区財団活動資金 (DDF) から合計 864,7757 米ドル授与された。

権利放棄

- **グローバル補助金 1758087** : インド Gandhinagar において低廉価格で重大な腎臓病の治療と泌尿器の治療を提供する。
- **地区/クラブ**: Vijapur ロータリークラブ (3054 地区 インド) 、Emory-Druid Hills Dekalb County ロータリークラブ (6900 地区 米国 ジョージア州 ディカーブ郡)
- **承認されたプロジェクト活動** : 透析機械 4 台、碎石機械 1 台、ホルミウム・レーザー機器 1 台、Cアーム X線透視機 1 台、逆浸透膜設備 1 台、SMV S 病院で腎臓科と泌尿器科を設置するためのその他の医療機器。
- **要求変更範囲** : ホルミウム・レーザー機器は高コストで実用が限定されるため、提唱者と病院は、この機器は不必要と判断した。他の科に必要な機器を提供する方がより効果的で価値があるものとなるだろう。
泌尿器科と腎臓科は透析と碎石術の機器が依然必要である。病理学科は病理学の機器、内視鏡検査科は内視鏡機器、眼科は眼検診および外科機器が必要である。
- **決定** : 事務総長は、管理委員会が 2018 年 10 月会合で承認したこの補助金の領域変更を承認した。

Waivers (権利放棄)

「Waiver」この単語自体は「棄権」や「放棄」という意味ですので、そのまま「放棄」という訳文にすることもあります。また、「権利放棄」という訳にすることも多い。

この RI および TRF の公式議事録日本語訳は、日本において設立された翻訳委員会によって翻訳されたものであり、RI による公式訳ではありません。翻訳タスクフォース委員会のメンバーは下記の通りです。

翻訳タスクフォース委員会

(敬称略)

委員長	辰野 克彦 (東京西ロータリークラブ 2750 地区)
委員	宮内 敦夫 (館林ロータリークラブ 2840 地区)
委員	桑月 心 (高山ロータリークラブ 2630 地区)
委員	宮坂 宥洪 (岡谷ロータリークラブ 2600 地区)
委員	飯村 慎一 (宇都宮 90 ロータリークラブ 2550 地区)
委員	成田 栄二 (茅ヶ崎ロータリークラブ 2780 地区)
委員	長谷川 卓 (近江八幡ロータリークラブ 2650 地区)
委員	佐藤美奈子 (福島ロータリークラブ 2530 地区)
委員	刀根荘兵衛 (敦賀ロータリークラブ 2650 地区) 事務局